

# JHL NEWS

No.19

2014年1月27日  
 ●発行●  
 日本ハンドボールリーグ機構  
 会長 多田 博  
 東京都渋谷区神南1-1-1  
 電話 03-3481-2494

## 北國、広島もプレーオフへ

### ～第38回 日本ハンドボールリーグ・第18週～

第38回日本ハンドボールリーグ第18週は1月25、26日に愛知などで女子6試合が行われ、2勝した北國銀行と1勝1分の広島メイプルレッズが、オムロンに続いてプレーオフ切符を獲得した。

25日愛知での北國-HC名古屋は、八十島のサイドシュートで先制点を奪った北國が、田邊のサイドシュートなどで開始5分4-0とリード。たまたらタイムアウトを取った名古屋は、金塚がサイドシュート、速攻で得点するものの、北國の堅いディフェンスを崩すことができず、18-4と北國リードで前半終了。後半も北國ペースは変わらず、福井、細田のロングシュートで反撃する名古屋に対し、速いパス回しからのカットインやポストプレーで次々と得点を重ねた北國が36-10の大差で白星をものにした。

25日岐阜での飛騨高山ブラックブルズ岐阜-広島は、広島が5:1ディフェンスで飛騨高山・柴田にプレッシャーをかけるとともに、守ってからの速攻で6分5-2と先行。さらに宋海林のカットインを中心に大前、高山の得点などでリードを広げた。その後、飛騨高山も池之端のカットインからオフenseのリズムを取り戻すと、金恩恵のステップシュートなどで6点差まで追い上げるも、広島は高橋らの活躍で再加速し、19-8で前半を終えた。広島は後半も宋海林のスクイプレーや大前、高山のポストプレーなど多彩なオフenseで飛騨高山を圧倒、34-16と危なげなく勝利をものにした。

26日愛知でのソニーセミコンダクター広島は、高めのディフェンスからの速攻やポストプレーなどで加点したソニーに対し、広島も宋海林の個人技などで加点。一進一退の攻防が続いた前半はソニーが14-11とリードして折り返した。後半も1点を争う展開となり、19分過ぎに広島がサイドシュートやポストシュートを確実に決めて20-19と逆転に成功、その後もめまぐるしく主導権が入れ替わり、勝負の行方は最後までもつれた。残り1分を切り、1点ビハインドの広島がセットオフenseで時間を使い、レフェリーからパッシブプレーを予告されるが、ポストまでボールをつないで7mスローを獲得。それを宋海林がきっちり決め、24-24の同点で幕を閉じた。この試合でソニー・高橋が通算300得点を達成した。

26日三重での三重バイオレットアイリス-北國は、両GKの好守もあってロースコアの滑り出しとなり、三重が10分2-1、20分5-5と北國と互角の戦いを演じた。しかし、ここから河田の7mスローと切れのあるミドルシュートで連取した北國がゲームの主導権を握り、前半終了間際には鮮やかなスクイプレーを決め、11-7と4点リードでUターン。後半に入り、なんとか反撃したい三重だが、逆に北國は立ち上がりから八十島の速攻や塩田のカットインシュートでいきなり4点を連取して一気にリードを広げ、その後も着実に加点、終わってみれば27-14と大差をつけて10勝目をあげた。

次週は宮城などで男子2試合、女子3試合が行われる。男子は下位に甘んじる4チームだが1つでも順位を上げたいところ。女子は上位3チームが順当に勝点を伸ばすか、それともソニーらが意地を示すか。



オムロンに次いでプレーオフ出場を決めた  
 ①北國銀行・塩田②広島メイプルレッズ・大前

### 第19週の日程

2月1日(土)	宮城	フラップ大郷21 (JR東北本線松島駅から車15分)	13:00~	(男)	トヨタ自動車東日本 × 豊田 合成
	三重	四日市中央緑地体育館 (近鉄線四日市駅からバス「中央緑地公園前」下車)	14:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × 広島メイプルレッズ
	佐賀	神埼中央公園体育館 (JR長崎本線神埼駅徒歩5分)	14:00~	(男)	トヨタ紡織九州 × 北陸電力
	鹿児島	霧島市国分体育館 (JR日豊本線国分駅駅徒歩15分)	14:00~	(女)	ソニーセミコンダクタ × オムロン
2月2日(日)	石川	金沢市総合体育館 (JR北陸本線金沢駅からバス25分)	13:00~	(女)	北國銀行 × 飛騨高山ブラックブルズ岐阜



ソニーセミコンダクタ・儀間

ソニーがプレーオフに大きく前進

4位争いするソニーセミコンダクタと三重バイオレットアイリスが25日岐阜で顔を合わせた。藤井、石井らで先行するソニーに対し、三重も山根、毛利の両GKが連続して7mスローを阻むなどで応戦。一進一退が続いた前半は9-7とソニーリードで終了した。後半に入り、15分過ぎから三重のミスに乗じたソニーが19分19-14とリード。その後、三重は原、早船の活躍で27分19-20と詰め寄ったが、ソニー・田中が10点目となるゴールを決めて接戦を制した。

26日愛知での名古屋-オムロンは、日本代表をバックプレーヤーに揃えるオムロンが次々と加点したのに対し、攻め手の見つかからない名古屋も7mスロー、ポストシュートで得点するも前半は2点のみ。16-2で前半を折り返したオムロンは、後半も多彩な攻撃で名古屋を圧倒、10分24-3として早々と勝負を決めた。この試合でオムロン・石立が通算200得点を達成した。

第5回チャレンジ・ディビジョン

〈Bブロック〉

1月25日兵庫・神戸国際大学体育館

H C和歌山	35	(17-10 / 18-11)	21	HC・MKA奈良
H ONDA	32	(13-9 / 19-13)	22	TOYAMA選抜

1月26日兵庫・神戸国際大学体育館

O S A K A SELECTION	35	(22-14 / 13-13)	27	TOYAMA選抜
八光自動車工業	33	(16-13 / 17-14)	27	HC・MKA奈良

選手登録情報

〈トヨタ自動車東日本〉

No.4	山田 隼也	1991.06.06	180cm	76kg	左	神森中→興南高→早稲田大
No.23	成田 有智	1989.12.08	173cm	72kg	右	御幸山中→北陸高→中京大

◆ 1月25日(土) 女子  
岐阜・飛騨高山ビッグアリーナ

ソニーセミコンダクタ	21	(9-7 / 12-12)	19	三重バイオレットアイリス	5勝0分8敗
K	藤野	山根	K	<2/3>	
0/0	山田	阪本	2/3		
0/0	山田	竹内	1/3		
1/1	1/4 高橋	大山	0/0		
10/15	4/7 田中	阿久	1/2		
0/1	2/7 儀間	石坂	1/2		
0/1	古川	飯石	0/1		
0/0	川崎	石川	0/0		
<0/2>	K 富田	毛利	K	<2/4>	
1/3	3 飛石	川	0/0		
1/1	1 鎌井	畑	1/3		
0/2	2 錦倉	稲	1/1		
2/5	3/8 藤井	谷	0/3		
0/0	0 0 カルリン	原	4/11 2/2		
		池	3/7		
		早	3/10		

◆ 1月25日(土) 女子  
岐阜・飛騨高山ビッグアリーナ

広島メイプルレッズ	34	(19-8 / 15-8)	16	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	2勝0分11敗
0/1	2/6 増田	菊池	K	<1/1>	
5/8	0 高橋	比嘉	0/0 2/2		
0/0	0 河田	池之端	3/4		
7/7	4 大村	中村	0/1		
4/7	7 木村	松本	3/6		
9/11	11 宋海林	船坂	0/1		
0/0	0 塩見	柴坂	5/8		
0/0	0 山口	小田	K		
<0/1>	K 石田	日下	0/0		
0/0	0 安齋	立野	K		
5/6	6 高山	金野	2/5		
<0/1>	K 田口	友野	0/3		
1/2	2 加須屋	陣野	1/1		
1/1	1 加藤				

◆ 1月25日(土) 女子  
愛知・ブラザー体育館

北国銀行	36	(18-4 / 18-6)	10	HC名古屋	0勝0分13敗
<0/1>	K 寺田	近藤	K	<0/2>	
0/0	0 若泉	池田	0/0		
0/1	1 鯨場	伊藤	1/2		
7/11	11 塩田	福井	2/10 1/1		
0/0	0 石野	高橋	0/5		
6/7	7 田邊	丸山	0/8		
1/1	1 永嶋	細田	1/6		
6/7	7 横嶋	竹内	0/0		
3/5	5 翁長	藤田	0/0		
3/6	6 横嶋彩	上野	2/2		
4/5	1/4 河田	瀧澤	K	<1/2>	
	K 橋本	山内	0/0		
5/5	5 八十島	戸塚	0/1		
0/0	0 小松	戸塚	1/3		
		金塚	2/3		
		水谷	0/0		

シュート阻止率

0.000	0/0 藤田	山根	0/0 0.000
0.541	20/37 飛田	毛利	19/37 0.514

シュート阻止率

0.500	6/12 林	菊池	9/43 0.209
0.273	3/11 田口	小立	0/0 0.000
		立野	0/0 0.000

シュート阻止率

0.619	13/21 寺田	近藤	0/0 0.000
0.857	6/7 橋本	瀧澤	11/33 0.333
		戸塚	0/10 0.000

◆ 1月26日(日) 女子  
愛知・ブラザー体育館

ソニーセミコンダクタ	24	(14-11 / 10-13)	24	広島メイプルレッズ	10勝1分2敗
<0/1>	K 藤野	増田	3/8		
0/0	0 山田	高橋	5/7		
0/0	0 山田	河田	0/0		
2/4	4 高橋	大前	2/3		
3/4	4 田中	木村	1/4		
0/5	5 儀間	宋海林	4/7 3/4		
0/0	0 古川	塩見	0/0		
0/0	0 川崎	山口	0/0		
0/0	0 富田	石田	2/4		
<1/3>	K 飛石	林	K		
3/6	6 石井	安齋	0/0		
0/0	0 鎌倉	高山	4/5		
8/11	11 錦織	田口	K	<1/2>	
1/2	7/12 藤井	加須屋	0/0		
0/0	0 0 カルリン	加藤	0/0		

◆ 1月26日(日) 女子  
愛知・ブラザー体育館

オムロン	35	(16-2 / 19-5)	7	HC名古屋	0勝0分14敗
<1/2>	K 藤間	近藤	K	<0/1>	
1/2	2 澤田	池田	1/3		
0/1	1 前田	伊藤	0/0		
1/1	3/3 吉田	福井	1/13 2/2		
2/2	3/4 稲葉	高橋	0/3		
	3/4 藤井	丸山	0/3 1/1		
	7/8 石立	細田	0/4 0/1		
	1/3 相澤	竹内	0/0		
	2/3 永田	藤田	0/0		
<0/2>	K 山内	瀧澤	K	<0/1>	
1/1	1 勝俣	瀧澤	0/0		
1/1	1 川俣	山内	0/0		
0/1	1 松本	戸塚	K	<0/2>	
4/6	6 東濱	戸塚	2/2		
1/1	1/1 松尾	金塚	0/2		
2/3	3 小館	水谷	0/0		

◆ 1月26日(日) 女子  
三重・鈴鹿市立体育館

北国銀行	27	(11-7 / 16-7)	14	三重バイオレットアイリス	5勝0分9敗
K	寺田	山根	K	<0/1>	
0/0	0 若泉	阪本	0/1		
0/0	0 鯨場	竹内	1/2		
4/12	12 塩田	大山	0/0		
0/0	0 石野	阿久	1/3		
5/7	7 田邊	石坂	1/4		
0/0	0 永嶋	飯田	0/2		
3/3	3 横嶋	石川	0/0		
2/5	5 翁長	毛利	0/1 <0/1>		
4/7	7 横嶋彩	黒川	0/0		
5/8	8 河田	漆原	0/0		
2/4	4 八十島	小	1/5		
0/0	0 小松	池	3/5		
		早	4/16		

0.447 17/38 (GK) 19/42 0.452  
審判(太田・島尻) 観客 400人

0.852 23/27 (GK) 11/42 0.262  
審判(亀井・堀川) 観客 612人

0.632 24/38 (GK) 14/39 0.359  
審判(寺内・細川) 観客 848人



# 男女個人ランキング 第18週終了現在

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1	成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1	藤井 紫緒	(オムロン)	99点	(13試合)
2	信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2	宋 海林	(メイプルレッズ)	96点	(13試合)
2	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	72点	(11試合)	3	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	93点	(14試合)
2	赤塚 孝治	(北陸電力)	72点	(11試合)	4	原 希美	(バイオレットアイリス)	86点	(14試合)
5	高 景 洙	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	5	河田 知美	(北國銀行)	78点	(14試合)
6	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	6	高山 智恵	(メイプルレッズ)	71点	(13試合)
7	豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7	田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	68点	(14試合)
8	濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8	増田 寛那	(メイプルレッズ)	64点	(13試合)
9	樋口 睦	(湧永製薬)	55点	(13試合)	9	福井 美樹	(H C 名古屋)	58点	(14試合)
10	今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	10	横嶋 かおる	(北國銀行)	51点	(14試合)
					10	横嶋 彩	(北國銀行)	51点	(14試合)

### フィールド得点

1	成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1	宋 海林	(メイプルレッズ)	82点	(13試合)
2	信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2	藤井 紫緒	(オムロン)	74点	(13試合)
3	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点	(11試合)	3	高山 智恵	(メイプルレッズ)	71点	(13試合)
4	高 景 洙	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	4	田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	68点	(14試合)
5	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	5	原 希美	(バイオレットアイリス)	67点	(14試合)
5	赤塚 孝治	(北陸電力)	58点	(11試合)	6	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	64点	(14試合)
7	豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7	福井 美樹	(H C 名古屋)	52点	(14試合)
8	濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8	横嶋 かおる	(北國銀行)	51点	(14試合)
9	今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	8	増田 寛那	(メイプルレッズ)	51点	(13試合)
10	出村 直嗣	(豊田合成)	49点	(12試合)	10	横嶋 彩	(北國銀行)	48点	(14試合)
10	芳仲 将行	(豊田合成)	49点	(12試合)					
10	村山 裕次	(琉球コラソン)	49点	(12試合)					

### シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	豊田 賢治	(大崎電気)	57点/ 78射	0.731	1	横嶋 かおる	(北國銀行)	51点/ 64射	0.797
2	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点/ 86射	0.674	2	高山 智恵	(メイプルレッズ)	71点/ 93射	0.763
3	信太 弘樹	(大崎電気)	72点/117射	0.615	3	田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	68点/ 109射	0.624
4	出村 直嗣	(豊田合成)	49点/ 81射	0.605	4	藤井 紫緒	(オムロン)	74点/ 131射	0.565
5	高 景 洙	(大同特殊鋼)	59点/103射	0.573	5	横嶋 彩	(北國銀行)	48点/ 88射	0.545
6	成田 幸平	(湧永製薬)	73点/133射	0.549	6	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	64点/ 119射	0.538
7	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点/122射	0.541	7	宋 海林	(メイプルレッズ)	82点/ 154射	0.532
8	芳仲 将行	(豊田合成)	49点/100射	0.490	8	増田 寛那	(メイプルレッズ)	51点/ 115射	0.443
9	今村 彰伸	(豊田合成)	52点/114射	0.456	9	原 希美	(バイオレットアイリス)	67点/ 188射	0.356
10	赤塚 孝治	(北陸電力)	58点/131射	0.443	10	福井 美樹	(H C 名古屋)	52点/ 156射	0.333
11	濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点/127射	0.441					
12	村山 裕次	(琉球コラソン)	49点/126射	0.389					

### 7mスロー得点

1	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	20点	(11試合)	1	河田 知美	(北國銀行)	35点	(14試合)
2	東長濱 秀希	(大崎電気)	17点	(12試合)	2	藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	29点	(14試合)
3	野田 祐希	(豊田合成)	15点	(12試合)	3	藤井 紫緒	(オムロン)	25点	(13試合)
4	赤塚 孝治	(北陸電力)	14点	(11試合)	4	原 希美	(バイオレットアイリス)	19点	(14試合)
4	渡部 仁	(トヨタ車体)	14点	(12試合)	5	宋 海林	(メイプルレッズ)	14点	(13試合)
6	平子 卓人	(大同特殊鋼)	11点	(12試合)	6	増田 寛那	(メイプルレッズ)	13点	(13試合)
6	樋口 睦	(湧永製薬)	11点	(13試合)	6	金 恩恵	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	13点	(13試合)
8	水野 裕矢	(琉球コラソン)	9点	(12試合)	8	吉田 起子	(オムロン)	8点	(14試合)
9	野村 喜亮	(大同特殊鋼)	7点	(12試合)	9	池原 綾香	(バイオレットアイリス)	7点	(14試合)
10	玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	6点	(11試合)	9	柴田 理紗	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点	(12試合)
10	藤本 純季	(トヨタ車体)	6点	(12試合)	9	細田 英子	(H C 名古屋)	7点	(14試合)

### シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1	甲斐 昭人	(トヨタ車体)	173本/ 387射	0.447	1	藤間 かおり	(オムロン)	201本/ 395射	0.509
2	志水 孝行	(湧永製薬)	157本/ 401射	0.392	2	寺田 三友紀	(北國銀行)	197本/ 423射	0.466
3	木村 昌文	(大崎電気)	78本/ 201射	0.388	3	飛田 季実子	(ソニーセミコンダクタ)	186本/ 426射	0.437
4	川添 将典	(北陸電力)	130本/ 380射	0.342	4	田口 舞	(メイプルレッズ)	142本/ 339射	0.419
5	久保 侑生	(大同特殊鋼)	70本/ 208射	0.337	5	毛利 久美	(バイオレットアイリス)	163本/ 394射	0.414
6	藤堂 聖二	(豊田合成)	119本/ 356射	0.334	6	戸塚 絢子	(H C 名古屋)	139本/ 448射	0.310
7	関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	143本/ 446射	0.321	7	菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	112本/ 441射	0.254
8	松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	75本/ 248射	0.302					
9	石田 孝一	(琉球コラソン)	75本/ 256射	0.293					

### 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	内田 武志	(琉球コラソン)	11本/ 19射	0.579	1	毛利 久美	(バイオレットアイリス)	7本/ 28射	0.250
2	木村 昌文	(大崎電気)	5本/ 15射	0.333	1	山中 絵里奈	(オムロン)	4本/ 16射	0.250
3	有 江 啓	(北陸電力)	5本/ 17射	0.294	3	藤間 かおり	(オムロン)	10本/ 41射	0.244
4	志水 孝行	(湧永製薬)	4本/ 15射	0.267	4	山根 エレナ	(バイオレットアイリス)	5本/ 21射	0.238
5	木下 国大	(トヨタ車体)	5本/ 22射	0.227	5	瀧澤 瞳子	(H C 名古屋)	4本/ 17射	0.235
6	藤戸 量介	(豊田合成)	5本/ 23射	0.217	6	菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	8本/ 39射	0.205
7	関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	4本/ 23射	0.174	7	戸塚 絢子	(H C 名古屋)	3本/ 16射	0.188

# 第 38 回 日本ハンドボールリーグ 成績表

第18週第2日終了 1月26日

順位	男子	トヨタ車体	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	豊田合成	トヨタ自動車東日本	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ車体	○	○	○	●	○	○	△	○	○	12	10	1	1	21	335	284	51
2	大崎電気	●	○	●	○	○	○	○	○	○	12	10	0	2	20	370	301	69
3	大同特殊鋼	●	○	○	○	△	○	○	○	○	12	9	1	2	19	330	274	56
4	湧永製薬	○	●	●	○	●	●	○	○	△	13	7	1	5	15	333	322	11
5	琉球コラソン	●	●	●	△	●	○	○	○	○	12	5	1	6	11	276	290	-14
6	トヨタ紡織九州	●	●	●	○	○	○	●	○	○	11	4	0	7	8	321	322	-1
7	豊田合成	△	●	●	●	●	○	○	●	○	12	3	1	8	7	307	341	-34
8	トヨタ自動車東日本	●	●	●	△	●	●	○	○	○	11	2	1	8	5	291	327	-36
9	北陸電力	●	●	●	●	●	●	●	●	○	11	0	0	11	0	224	326	-102

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッズ	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	○	○	○	○	○	○	○	14	11	2	1	24	370	246	124
2	北國銀行	△	○	○	○	○	○	○	14	10	1	3	21	375	273	102
3	広島メイプルレッズ	●	○	○	○	○	○	○	13	10	1	2	21	367	277	90
4	ソニーセミコンダクタ	●	△	●	△	○	○	○	14	7	2	5	16	339	272	67
5	三重バイオレットアイリス	●	●	●	●	●	○	○	14	5	0	9	10	291	329	-38
6	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	●	●	●	●	●	○	○	13	2	0	11	4	219	360	-141
7	H C 名古屋	●	●	●	●	●	●	●	14	0	0	14	0	187	391	-204

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けています。